

ひと

vol.47

～私の  
1ページ～

このコーナーでは、会員の皆さんの“ひと”にスポットを当て、プライベート、心にあるお言葉などをご紹介させていただきます。

今回は、(有)柴田酒造場 代表社員 柴田秀和氏のご紹介で、(有)中田屋 代表取締役 伊與田晃浩氏にお話を伺いました。



プロフィール

名前：伊與田 晃浩 氏  
(1967年 岡崎市生まれ)  
企業名：(有)中田屋  
役職：代表取締役  
事業内容：かりんとう製造  
TEL：0564-21-3057

勇気と情熱

(伊與田氏 直筆)

■経歴について

大学では機械工学を学び、トヨタ系企業にエンジニアとして入社。7年間勤めた後、親の猛反対を押し切り家業であるかりんとう屋を継ぎました。製造配達の日常業務を行いながら、商品開発・営業・設備改善などに奔走しました。2度の客先倒産の経験から自社ブランド確立に着手。平成22年に製造直売店「三州菓子工房中田屋」を出店し現在に至ります。

■楽しいと思うのはどんな時ですか？

商品開発のためのデザインの勉強を兼ねて3年前からカメラスクールに通っています。写真はとても奥が深く、作品造りをする事が創造力を養ったり、潜在的な自己発見にもつながります。写真を通じて個性と感性を磨きながら、共通の趣味をもつ人との交流がとても楽しいです。今では老若男女多くの仲間とともに撮影旅行に出かけたりしています。

■仕事で大切にしていること

お店のキャッチフレーズ「ありがとう。かりんとう。」は私の経営スタンスを表した言葉です。お客様に対してはもちろんのこと、仕入れ先やパートさんなど自分を取り巻くすべての方々に感謝の気持ちを常に持つように心掛けています。この思いが良い製品・良いサービスとなり、お客様に必要なとされる仕事につながると考えています。



▲神明宮大年番の代表を務めた時 (写真中央 紋服姿)

■いつも心にある言葉は？

「勇気と情熱」です。この言葉は商工会議所青年部の指針の中に使われており、経営者として大切な心構えだと思っています。経営も人生も常に決断の連続です。勇気ある決断をし、情熱を注いで努力を続ければ、必ず道は開けると信じています。

今年は改革の年！ 第9回 岡崎ジャズストリート

NPO法人岡崎ジャズストリート 実行委員会 会長 同前慎治 氏

今回で9回目を迎える、秋の岡崎の一大イベント、岡崎ジャズストリート。次年度で10周年目を迎えるにあたって、今回の開催では開催内容の一新に挑む。

ジャズ音楽イベントとして周辺地域での知名度も高まり、東京や大阪、市外からも多数の来場者が訪れている。しかし、成功と言われながらも、運営を行う実行委員会では、開催方法のマンネリ化や、動員数の微減少、ミュージシャン・お客様・サポーターを含む全員参加への取り組みへの意識の統一が課題となっていた。

「10周年目を節目の年として、“新”岡崎ジャズストリートとして迎えるために、今回、第9回の開催を改革のための前哨戦の年として捉えて、開催内容の一新を図りたい」と同前会長。

改革案のプランニングをジャズストリート出演ミュージシャンが提案、それを元に検討に入る予定。

「開催会場周辺の商店街、そして岡崎市民全員が“岡崎ジャズストリート”というイベントに期待していただけるようにしたいと思います。また、同日に開催される様々なイベントとの連携も図っていきたいと思っています。その際には是非、ご協力をお願いします！」



開催予定日：11月1日(土)、2日(日) 会場：康生地区周辺  
お問合せ先：岡崎ジャズストリート実行委員会 岡崎市大西3丁目9-1 太田ビル2階B号  
電話：0564-83-5187  
ホームページ：http://www.okazakijazzstreet.com/ 開催に向けて順次開設